

山梨県芸術文化協会情報誌

藝文

やまなし

Vol.50

令和6年3月号

CONTENTS

令和5年度を振り返って
イベント紹介

芸術劇場 公演団体の声

芸術劇場 開催団体の声

芸術文化講習会 開催部門の声
賛助会員の紹介

事務局

山梨県 観光文化・スポーツ部
文化振興・文化財課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

TEL 055-223-1797

FAX 055-223-1793

<http://yamanashi-geibun.net>

令和5年度を振り返って



山梨県芸術文化協会会長
野口 英一

木々や花が芽吹き始め、春の暖かさが感じられる季節が到来しました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の制限を余儀なくされていましたが、本年度はコロナ禍前と同じ水準で芸術劇場や指導者派遣事業等を無事に終了することができました。これも会員の皆様のご協力があったからこそであり、本県の芸術文化の担い手の育成にご尽力いただいたことに心から感謝申し上げます。

山梨芸術劇場では、音楽、邦楽、演劇、太鼓の各部門の会員による6公演を実施しました。多くの子供たちに舞台芸術を鑑賞、体験する機会を提供し、その素晴らしさをお伝えすることができたと思います。

指導者派遣事業では、文学、茶道、書道、写真、フラワーデザイン、ハンドクラフト、音楽、合唱、邦楽、洋舞、民謡民舞、太鼓、朗読の各部門の会員が、派遣希望のあった小、中、高等学校等へ出向き、指導していただきました。

それぞれの専門分野の会員から工夫を凝らした直接指導を受けることにより、芸術文化への興味、関心を深める機会になったと思います。

芸術文化講習会では、書道、合唱、ハンドクラフトの各部門の会員による講習会が実施されました。各部門におきましては、充実した内容の講習会により、芸術文化の振興に資する自主的活動の促進と指導者育成に役立てることができたと思います。

新型コロナウイルス感染症の流行から4年が経過し、私たちは確実に日常を取り戻しつつあります。しかし、その脅威が完全に消え去ったわけではありません。新たな感染症の発生などにより、今後も芸術文化活動が脅かされることがあるかもしれません。そのようなときにおいても、芸術文化の灯を絶やさないために、本協会の事業は継続して実施していかなければなりません。芸術文化は、私たちに安らぎをもたらし、和やかで潤いのある社会生活を実現する上で、重要な支えであることを確信しております。

会員の皆様におかれましては、今後とも本協会の事業に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、結びとさせていただきます。

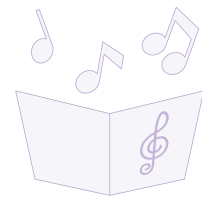
イベント紹介

会員の活動をホームページで紹介しています。詳しくはこちら



芸術劇場 公演団体の声

劇団創作座 代表 山口 善彦



山梨芸術劇場「笛吹市立一宮北小学校」は、猛暑の中の令和5年7月19日に一宮北小学校体育館で上演しました。

上演作品は、「夕鶴」の作者であり劇作家の木下順二氏の民話劇「瓜子姫とアマンジャク」を小学生向けにアレンジした作品です。

一宮北小学校は全校生徒が約80名という規模の小学校で、先生を含めて約90名の皆さんに鑑賞して頂きました。

小学生の皆さんに鑑賞して頂けるよう、原作にはない山姥や大きな手を登場させ、山の中の民家を舞台として作り、照明や音響などで工夫して上演しました。

生徒の皆さんは初めて見る「生の演劇」にとっても興味を示してくれました。特に低学年の生徒の皆さんは、人形が現れ舞台が暗くなると大きな声で反応してくれました。

体験コーナーでは、公演終了後舞台上に移動してもらい、古びた民家の作り方や舞台裏、今まで見たことのない

背負子や蓑、土間などを鑑賞したり、山姥の大きな手や目が光る人形に直接触れてもらいました。

前日から準備のための仕込みを開始し、当日を迎えましたが、とにかく連日猛暑が続き、体育館はサウナのような状態になっているため、学校と協議をして本番時間を午後から午前に変更して頂きました。

体育館のドアを半分開け換気を良くし、大型のファンを稼働、暗幕も必要最小限にするなどの措置を講じました。生徒の皆さんが最後まで鑑賞してもらえるかとても不安でしたが、水分補給する生徒さんが数名いた程度で、体調不良になる生徒さんも出ず、無事終了することができました。

テレビやパソコンで見るとは異なり、目の前で起こる出来事に素直に反応してくれると、これからも子供たちに喜んでもらえるような「芝居」を続けていこうと考えます。

また今回の公演で、「演劇」に興味をもっただけだった生徒さんがいれば嬉しく思います。

芸術劇場 開催団体の声

笛吹市立一宮北小学校 教頭 村松 賢志

梅雨が明けて夏本番を迎えた7月、笛吹市立一宮北小学校で劇団創作座による芸術鑑賞会を行いました。

本校は、全校児童90名と小規模校です。本物の文化芸術に触れることは、想像力や感性など豊かな人間性を涵養したり、他者と共感し合う心を通じて人間相互の理解を深めたりとその意義は大変大きいと考え、可能な限り芸術を鑑賞する機会を設けています。今回は「山梨芸術劇場」に申請を行い実現に繋げることができました。

当日の演目は、劇作家の木下順二の「うりこひめとあまんじゃく」を脚色した「瓜子姫とアマンジャク」でした。瓜子姫の体育館内に響き渡る声量やアマンジャクの恐ろしさを想像させる演出など、約1時間の上演時間があっという間に過ぎるほど話の中に吸い込まれていきました。演技を間近に観た児童からは「アマンジャクが登場した時の迫力がすごかった」「瓜子姫の演技にハラハラドキドキした」などの感想を多く聞くことができました。7月の大変暑い時期でしたが全校児童や保護者が体育館で熱気あふれる素晴らしい時間を過ごすことができました。

劇団の方々には、熱中症対策として急遽開始時間を早めていただいたり、空調機器をフル稼働しながらの観賞会だったりと様々な面でご理解やご協力をいただきました。



た。また、前日朝から仕込みに入り、舞台準備やリハーサル等、当日も含めて本当に長い時間をかけて準備をしていただいたことに感謝しています。

最後に、芸術鑑賞会は、普段の生活では触れることのできない機会を創出することができます。そして、五感を全て使って体感することで心を豊かにできます。今後も継続して芸術に触れていきたいと思えます。貴重な機会を本当にありがとうございました。

芸術文化講習会 開催部門の声

ハンドクラフト部門 窪澤 三和

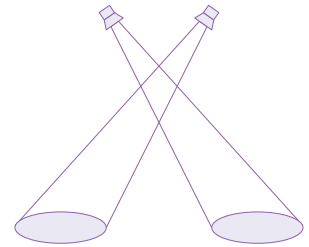
山梨県芸術文化協会ハンドクラフト部門は、県内外で活躍する分野が違う作家方が集まり、手工芸のすばらしさを伝えている部門です。所属する会員、並びに新会員を対象とする籐工芸講習会を開催しました。

伝統工芸である籐工芸の魅力と歴史、材料となる籐の産地、ヤシ科のつる性植物などと、講師から説明を聞き、数多くの作品を手に取り、触れたりして、籐の天然素材としての暖かさや美しさ、丈夫で軽量という特徴から小物、家具など生活に馴染んでいることを学び、体験実技がまりました。

各自材料の籐を水に浸し、柔らかくなる性質を利用して、巻く、編む、組む、といった基礎を学びながら、ウッドビーズを入れたカゴを製作しました。カゴの底の部分から

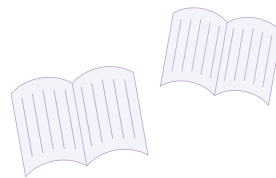
編むのだが、力の加減が分からず強くしまったり、弱くてゆるんだり、技術を習得しながら知識を学ぶ講座でした。出来上がりの作品は個性あふれる物ばかりで、手作りの良さや満足感を味わうことができました。

山梨の文化と魅力を発信する人づくりとともに、多様な個がつながる、支え合う部門に発展していけたらいいと思います。会員それぞれに、創作のエネルギーが生まれる機会と時間を与えてくれた文化講習会は有意義なものになりました。理想の未来を思い描いて、これからも色々な講座を開催し、ハンドクラフト部門の向上を目指していきたいと考えています。手作り作品の楽しさを次の世代に伝えられるように、これからも普及活動に努めて参ります。



賛助会員の紹介

当協会の趣旨に賛同して下さりご協力をいただいている賛助会員の皆様です。 令和6年3月1日現在



天正十年(1582年)創業。
鹿革と漆の伝統技を今に伝える甲州印伝の総本家。

印
印傳屋
甲州上原勇七

www.inden-ya.co.jp

株式会社
A-S-K
吉宇屋本店

和楽器専門
有限会社
田中楽器

創業1902年(明治35年) 安心も一緒にお求めください

内藤楽器株式会社
TEL:055-243-8200 http://naito-gakki.co.jp

楽器・楽譜・防音室・ピアノ / 調律・楽器修理・買取・運送・ヤマハ教室

真心と確かな技術
株式会社 **早野組**
HAYANO
環境への想いをかたちに

甲州西条名産書道用紙・用具販賣卸
有限会社 **表現社**

額縁・洋画・デザイン・日本画材料
みくに画材店
TEL 055-252-1614 FAX 055-252-1618

山形屋琴三弦店
創業145年、最高級の技術で
和楽器の製造と修理を承ります!

(一社)山梨県労働者福祉協会

公益財団法人 **やまなし産業支援機構**

FUJIFILM
フジカラー総合ラボ
写真は大切な宝 我が家の財産
株式会社 **山梨フジカラー**
http://www.yamanashi-fuji.co.jp/

山梨日日新聞社

山梨文化会館

YBS山梨放送

チラシ パンフレット 作品集 記念誌 あらゆる印刷物に対応

株式会社ヨネヤ
〒400-0031 甲府市丸の内1-14-6 TEL 055-235-4311 FAX 055-235-4313
ヨネヤ 印刷 検索 http://www.yoneya.co.jp

連合山梨
〒400-0858甲府市相生2-7-17
TEL 055-228-0050

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C131518